

令和4年度 国民体育大会アーチェリー競技代表選手選考方法

平成25年第67国体より、全日本体育協会国民体育大会参加規程に追記の「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」(以下:アスリート申請) 適用事例が発生する場合は、各項②の規定に従って運用する。

〔1〕 代表選手選考

当該年度に実施された国体予選会成績4回の中から上位2回の合計得点をもとに、3名の正選手と1名の補欠選手を選考委員会で選考する。

- ① 「アスリート申請適用者」が正選手に含まれない場合。
上記規定に従って選考する。
- ② 「アスリート申請適用者」が正選手に含まれる場合。
「アスリート申請」適用者を本国体代表選手として確定し、「アスリート申請」適用者を除く3名の選手を関東ブロック代表選手として選考し次席1名を補欠とする。

〔2〕 関東ブロック大会派遣選手

- ① 「アスリート申請適用者」が正選手に含まれない場合。
「神奈川県代表選手」として、3名の正選手を当該年度の関東ブロック大会へ派遣する。
- ② 「アスリート申請適用者」が正選手に含まれる場合。
「アスリート申請」適用者を除く3名の選手を「神奈川県代表選手」として、当該年度の関東ブロック大会へ派遣する。

〔3〕 本国体派遣選手

- ① 「アスリート申請適用者」が正選手に含まれない場合。
「神奈川県代表選手」として関東ブロック通過チーム3名の正選手を、当該年度の本大会へ派遣する。
- ② 「アスリート申請適用者」が正選手に含まれる場合。
「神奈川県代表選手」として「アスリート申請」適用者を含む3名の選手を当該年度の本国体に派遣する。
なお、本国体へ出場する「アスリート申請」適用者以外の選手は、当該年度の関東ブロック大会当日、WA70mラウンドの個人成績上位から順に選考する。
※上記選考選手は、成年の部の補欠選手を除き、自動的に「競技力向上対策事業 国体選手強化事業」の対象選手とする。

〔4〕 自然災害等のやむを得ぬ理由で規定回数(4回)の予選会を実施できなかった場合

- ① 実施済み予選会の成績を用いてランキングを作成し選考する。
- ② 全く実施できなかった場合は、前年度4月1日～当該年度の最終国体予選実施予定日までのWA70mラウンドの成績をもとにランキングを作成して選考する。

〔5〕 自然災害等のやむを得ぬ理由でブロック大会が実施できなかった場合

国民体育大会開催基準要項第18項第3号に基づき、ブロック大会幹事県が中心となり、ブロックを構成する都道府県体育・スポーツ協会及び都道府県競技団体との協議により、決定するブロック代表枠の選考方法に従って決定する。

〔6〕 国民体育大会監督の選考に関して

以下の基準に従って、ブロック大会申込5月、本大会申込8月の理事会において決定する。

- ① 神奈川県アーチェリー協会理事会において承認を得た者。
- ② 当該年度に有効なスポーツ指導員の資格を有する者を優先する。
- ③ 原則として、年間化計画に記載の「強化事業」に継続的に参加できる者を優先する。
- ④ 原則として、年間化計画に記載の「強化事業」「ブロック大会」「本国体」に同行できる者。
- ⑤ 「選手強化事業」に関しては、当該年度の監督候補を優先する。
- ⑥ 国体事業参加同意書を提出した者。

〔7〕 手強化並びに Jr 強化事業対象選手選考に関して

※以下の全事業に関しては、国体事業参加同意書(前期・後期)の提出が必要です。

7-1 前期 強化対象期間(6月～9月)

- ①選考大会 第一回国体予選～第四回国体予選
- ②令和4年度 選考基準

A. 国民体育大会関東ブロック大会県代表選手

- ・選考大会における上位2大会の合計ランキングにより、正選手3名と補欠1名を選考する。
- ・少年の部において、**原則**、補欠選手が卒業学年の場合は強化事業への参加は認めない。

B. 前期 Jr 強化選手

- ・選考大会における上位2大会の合計ランキングより、国体選手を除く男女合計、最大16名を前期 Jr 強化対象選手として選考する。

7-2 後期 強化対象期間(10月～3月)

- ①選考大会

A候補：関東選抜大会出場への申請点を利用したランキング

B候補：登録初年度については、高校新人大会及び県新人大会のランキングにより選考する。

C候補：10月～2月の神奈川県内開催の70mラウンド公認競技会における記録

- ②令和4年度 選考基準

- ・前期強化対象選手が、後期参加同意書を提出した場合は、継続して後期事業への参加を認める。
選考基準A：当該年度の関東選抜大会選考基準点以上を記録したものを後期 Jr 強化選手として指定する。
選考基準B：高校新人大会及び県新人大会のベストスコアランキングにより、若干名を選考する。
選考基準C：当該年度、関東選抜大会選考基準点以上を記録した者を後期 Jr 強化選手として指定する。

(同意書に公認競技会大会名とスコアを記入して提出)

注) 合宿事業への参加者の選考はA～Cの対象選手から県ア協会が開催する国体 Jr 強化練習会における記録を参考にして男女合計、最大16名以内を選考する。

注) 選考後も国体 Jr 強化練習会における記録が、著しく選考基準点を下回る事が連続した場合は対象選手の権利を失うことが有る。

〔8〕 問い合わせ先

メールにて以下の窓口にご連絡ください

NPO法人 神奈川県アーチェリー協会

国体部 川村 栄一

Mail-TO: Kawamura_eiichi_gmail@ysh.ed.jp